

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ピアノレパートリーⅡ Piano Repertory Ⅱ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(保育士養成課程選択)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ピアノ演奏法Ⅰ ピアノ演奏法Ⅱ ピアノレパートリーⅠ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教職課程(幼稚園教諭二種) 保育士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
中沢充恵 西尾幸子		講義棟1階	月・金	授業中に指示します
授業の概要				
音楽を通して幅広い表現活動を可能にするためのピアノ演奏および歌唱の技術習得を図る。授業ではクラシック・幼児曲・その他(ディズニー、ジブリ等)受講生の希望する楽曲を指導し、保育現場で実践できるレパートリーを増やす。たくさんの音楽に触れることにより保育現場で子どもの情操を養うことのできる音楽性の高い演奏をすることを目指す。また、採用試験での課題や内定先から提示された楽曲の指導も積極的に行う。				
授業の目標				
①楽曲の内容や指導の狙いを把握し、子ども達に表現指導をすることができるようになる。 ②楽語や記号、フレーズなど、楽譜からの情報を豊かな表現に繋げることができるようにする。 ③コードネームの基本を理解し、簡単な伴奏を創作し演奏することができるようにする。 ④人前で演奏することを意識したピアノ演奏と歌唱を目指す。				
授業の方法				
演習(実技を中心)形式。ピアノ実技を中心とした担当教員による個人レッスンと、歌唱表現を中心としたグループレッスンを並行して行う。受講生は毎回ピアノと歌唱のレッスンを受け、弾き歌いの実践を行う。以下には、標準的授業計画を示す。				
学習の成果(学習成果)				
①簡単なコードを使って楽曲を使って楽曲を演奏することができ、幼児曲の伴奏や、弾き歌いに発展させることができる。 ②豊かに表現する喜びを享受し、保育者として子どもたちの表現活動を指導することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	全体オリエンテーション: 授業概要、評価方法、受講上の注意等を説明 担当者別: 教材の選定と課題			
第2回目	幼児曲弾き歌い 季節のうた①さよならのうた			
第3回目	幼児曲弾き歌い 季節のうた②やきいもグーチーパー			
第4回目	幼児曲弾き歌い 季節のうた③あわてんぼうのサンタクロース			
第5回目	幼児曲弾き歌い 季節のうた④ジングルベル			
第6回目	幼児曲弾き歌い 季節のうた⑤思い出のアルバム			

第7回目	幼児曲弾き歌い 季節のうた⑥一年生になったら 自由曲の選定
第8回目	自由曲演奏① 弾き歌いレパートリー：ポイント 姿勢、発声
第9回目	自由曲演奏② 弾き歌いレパートリー：ポイント うたとピアノのバランス
第10回目	自由曲演奏③ 弾き歌いレパートリー：ポイント リズムの取り方、演奏のテンポ
第11回目	自由曲演奏④ 弾き歌いレパートリー：ポイント コードネーム（C-G-F）を使った簡易伴奏法
第12回目	自由曲演奏⑤ 弾き歌いレパートリー：ポイント コードネーム（セブンス）を使った簡易伴奏法
第13回目	自由曲演奏⑥ 弾き歌いレパートリー：ポイント コードネーム（マイナー）を使った簡易伴奏法
第14回目	自由曲演奏⑦ 楽曲の完成
第15回目	自由曲発表 発表の講評 今後の課題およびアドバイス

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	与えられた課題を練習して授業に臨んでいるか、レッスンを理解して実践に繋げているかを評価する。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	50%	担当教員全員の前で1曲演奏し、曲の難易度と表現力で採点する。
その他	20%	楽曲を何曲レパートリーにできたか、進捗についても評価する。

教科書と参考図書

就職試験課題曲、その他（自由曲）

履修上の留意点・ルール

使用教室（MR I、MR II、レッスン室）では、飲食持ち込み禁止とする。
 毎回、各学生の進捗に適した曲が課題となり、次回の授業でその曲の個人レッスンを受ける。
 短い時間でも毎日鍵盤に触れ、将来、保育現場で子どもたちに音楽の楽しさを伝えられるように努力してほしい。